

年報

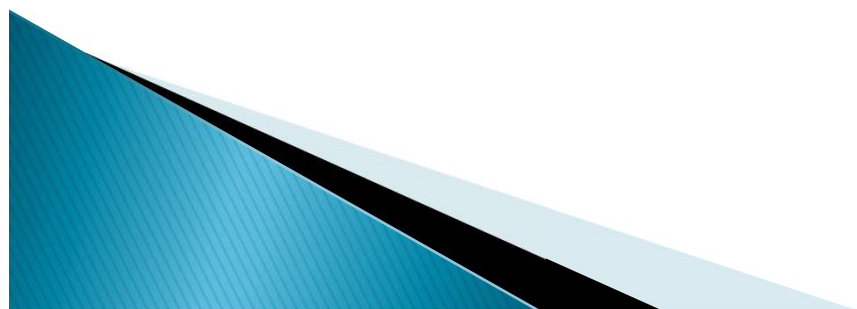
医療法人社団協友会 吉川中央総合病院

2019



目次

病院概要	1
沿革	3
事業計画	4
業績(医師)	7
業績(医師以外)	8
組織図	9
委員会組織図	10
臨床実績 年次報告	11
各部署 年次報告	32
看護部	33
医療安全管理室	34
薬剤部	35
リハビリテーション科	36
検査科	37
放射線科	39
栄養科	40
総務課	41
医事課	42
患者家族支援課	43
健康管理科	44



◆医療法人社団協友会 吉川中央総合病院◆

【開設】 1974年9月

【所在地】 〒342-0056
埼玉県吉川市平沼111番地
TEL 048-982-8311(代)
FAX 048-981-2062
URL <http://www.yoshikawa-hp.or.jp>

【開設者】 理事長 平岡 邦彦

【管理者】 院長 長澤 重直
事務長 松崎 智
看護部長 中澤 文子

【病院理念】 患者様中心の質の高い医療

【基本理念】 1. 当院は、24時間救急医療に対応します。
2. 当院は、インフォームド・コンセントに基づいた医療を提供します。
3. 当院は、チームで医療と看護を行います。
4. 当院は、医療連携を推進し、地域医療に貢献します。
5. 当院は、在宅ケアを積極的に推進します。
6. 当院は、質の高い緩和ケアを提供します。
7. 当院の臨床倫理方針に基づいた医療を提供します。

【診療科目】 内科 / 外科 / 消化器内科 / 整形外科 / 脳神経外科 /
小児科 / 眼科 / 皮膚科 / 耳鼻咽喉科 / 泌尿器科 /
リハビリテーション科/麻酔科/緩和ケア科

【各種部門】 診療部 / 看護部 / 診療技術部(薬剤科・放射線科・
検査科・リハビリテーション科・患者家族支援課・
栄養科) / 事務部(医事課・総務課・経理課・
健康管理課・診療情報管理室・メディカルクラーク・
システム管理室 等)

【職員数】 405名（常勤） 125名（非常勤）

【病床数】 272床

【延床面積】 12,870.30 m²

【敷地面積】 6464.47 m²

【指定施設】 保健取扱指定医療機関 / 労災保険指定医療機関 / 救急告示病院 / 第二次救急医療病院群輪番制病院 / 生活保護法指定医療機関 / 結核予防法指定医療機関 / 原子爆弾被爆者一般医療指定機関 / 感染症指定届出医療機関 / 身体障害者福祉法第15条指定医 / 日本外科学会外科専門医制度研修施設 / 日本整形外科学会専門医制度研修施設 / 日本がん治療認定機構認定研修施設

【研修実施施設】 看護専門学校実習施設 / 理学療法士 / 管理栄養士 / 医療事務

【基準認可】 急性期一般入院料1 / 障害者施設等入院基本料10対1 / 療養病棟入院基本料1 / 緩和ケア病棟入院料 / 回復期リハビリテーション入院料1 / 診療録管理体制加算1 / 医師事務作業補助体制加算25対1 / 急性期看護補助体制加算25対1 / 夜間100対1急性期看護補助体制加算 / 医療安全対策加算1 / 感染防止対策加算2 / 特殊疾患入院施設管理加算 / 療養病棟療養管理加算1 / 病棟薬剤業務実施加算 / 後発医薬品使用体制加算1 / データ提出加算2(イ) / がん患者指導管理料 / 外来化学療法加算1 / 薬剤管理指導料 / 麻酔管理料 / 検体検査管理加算2 / コンタクトレンズ検査料1 / 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 / 無菌製剤処理料 / 輸血管理料2 / 輸血適正使用加算 / 退院支援加算1 / 認知症ケア加算2 / 胃瘻増設術胃瘻増設時嚥下機能評価加算 / 精神疾患診療体制加算 / 脳血管疾患リハビリテーション料1 / 運動器リハビリテーション料1 / 呼吸器リハビリテーション料1 / がん患者リハビリテーション料

【併設施設】 吉川市第3地域包括支援センター
居宅介護支援事業所吉川中央

病院沿革

- 1974年 9月 吉川中央病院開設 病床数102床
- 1978年 7月 医療法人社団中央米寿会 吉川中央病院に組織変更
- 1981年 3月 病床数78床増床(180床) ※許可ベッド165床
- 8月 医療法人社団協友会 吉川中央病院に名称変更
- 1998年 4月 病床数15床増床(195床)
- 1999年 6月 吉川中央総合病院へ名称変更
- 3月 訪問看護ステーション開設
- 2000年 4月 在宅介護支援センター開設
- 4月 訪問介護ステーション開設
- 2003年 4月 病床数84床増床(279床)
- 4月 マンモグラフィ導入
- 2006年 7月 介護型療養病棟84床に
- 11月 訪問リハビリテーション事業所開設
- 2007年 7月 許可ベッド数279床から273床へ減床
- 7月 訪問介護ステーション休止
- 2009年 1月 医療法人社団協友会 理事長変更 中村秀夫から中村康彦へ
- 4月 DPC対象病院認定
- 2012年 9月 介護型療養病棟84床を医療型療養病棟84床に変更
- 2013年 1月 新棟A棟竣工
- 1月 MRI(1.5T)導入
- 1月 CT(64列)導入
- 2月 許可ベッド数273床から264床へ減床
- 11月 電子カルテ運用開始
- 2014年 9月 新棟B棟竣工
- 10月 許可ベッド数264床から272床へ増床
- 2015年 2月 医療法人社団協友会 理事長変更 中村康彦から平岡邦彦へ
- 7月 (財)日本医療機能評価機構(3rd.G ver1.0)認定
- 11月 日本がん治療認定医機構認定研修施設認定

2019年度事業計画

【AMG基本施策】

1. 患者中心の医療の推進

- ◇患者の意思を尊重した医療の提供
- ◇多職種の特門チームによる積極介入
- ◇断らない迅速な医療の実践
- ◇Webサイトの患者向け効果の検証と充実

2. 地域と密着した医療の実践

- ◇地域医療構想に基づく病床機能の明確化
- ◇認知症施策(新オレンジプラン)の推進
- ◇在宅医療の人員配置を含めた機能強化
- ◇切れ目のない医療・介護連携システムの構築

3. 健全経営の継続

- ◇大型連休、祝日の診療体制整備
- ◇法人単位の運営
- ◇予防医療の強化と二次健診受診率の向上
- ◇人財採用の強化と外国人採用基盤の構築
- ◇次回診療報酬改定に向けた取り組み

4. 人財の育成

- ◇リーダーシップ育成プログラムの強化
- ◇職員の個別能力評価・能力開発の基盤構築
- ◇専門資格取得支援及び研究発表の推奨
- ◇ハラスメントの予防と防止

5. 継続的質改善の取り組み

- ◇施設基準遵守のための体制強化
- ◇第三者評価の受審を活用した改善活動
- ◇目標管理とアウトカム評価の向上
- ◇医療安全・感染制御体制の充実
- ◇三役・管理職の連携とリーダーシップの発揮

【事業計画】

病院稼働目標	一般病棟	86.2%
全体 90.8%	障害者病棟	95.5%
	療養病棟	96.3%
	回復期リハ病棟	96.7%
	緩和ケア病棟	85.7%

	目標	実績
入退院数	9.5人/日	8.9人/日

急性期一般入院基本料4から1へランクアップを行う。在院日数・看護必要度等の施設基準はクリアできるものとし、9月までに看護師の増員を行い、ランクアップを目指す。それと平行し、看護職員夜間配置加算の新規取得も目指す。1日平均在床数を前年比+10床を目標に掲げ、一般病棟以外のベッド稼働率を高水準で設定し、安定稼働に努める。

救急体制の強化

救急受け入れ件数・救急からの入院件数については年々増加傾向にある。H29年8月より「埼玉県東部地域消化管出血輪番(STGIB)」に月2回参加しており、受け入れ実績としては、H29年度 8件、H30年度 3件となっている。受け入れ実績の増加を目標に掲げ、課題となっている内視鏡実施に対する看護師教育と平行して人員採用を行う。

新患者数増加への取り組み

緩和ケア病棟を中心に、連携室を仲介役とし、他医療機関に営業活動を強化し、新患者数の増加につなげる。

【中長期計画】

1. 地域医療の推進

吉川市周辺的一般急性期・夜間も含めた救急体制を維持しながら、地域包括ケアシステムや地域医療構想の構築も視野に入れ、増加する高齢者のための回復期機能や在宅支援医療に対する強化を図る。

2. 人財の育成と確保

地域の急性期医療を継続するための医師・看護師の確保に努め、医療の質の向上に向けた人財の育成を強化する。
また業務効率化をすすめ、医療機能に沿った人員配置に努める。

3. 健診・予防医療の強化

治療に対する医療だけでなく、早期発見・早期治療につなげるため、地域住民に対する健康意識・予防意識の向上を目的とした啓蒙活動に努める。

4. 他医療機関との連携強化

他医療機関との役割分担を明確にするための情報提供活動を継続的に行い、紹介患者・救急患者の受け入れを積極的に行う。また状態の安定した患者に対しては、逆紹介を行い、迅速な前方連携・後方連携につなげる。

医師業績集 [学会・研究会並びに著書・執筆活動]

新型コロナウイルスの影響により、当該項目において2019年度は活動等行っておりません。

氏名	診療科	月日	発表学会名 または掲載誌	学術発表及び演題名

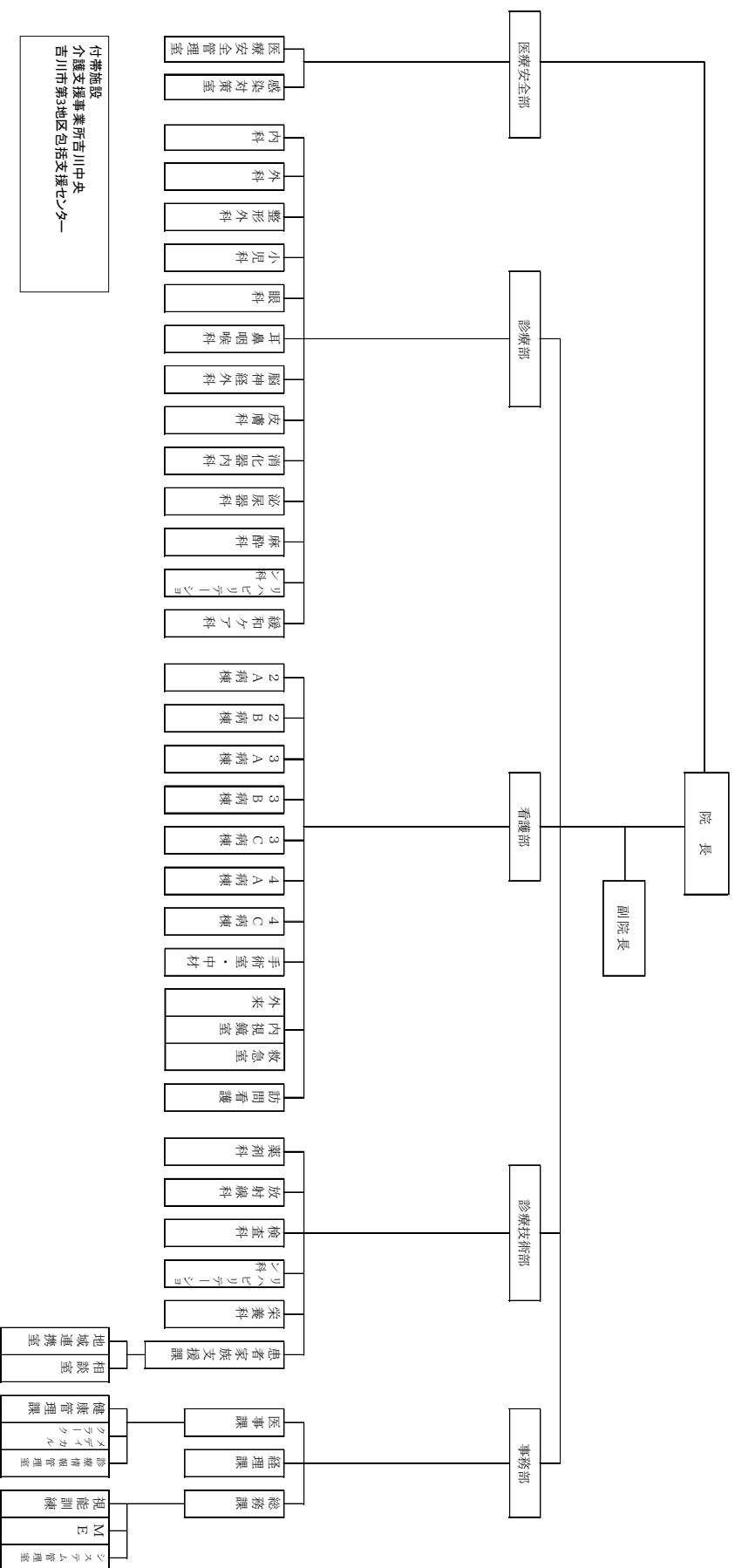
看護・コメディカル・事務 その他業績集 [学会・研究会並びに著書・執筆活動]

氏名	部署	月日	発表学会名 または掲載誌	学術発表及び演題名
山崎明日美	2A	2019年 11月	埼玉県看護協会 第9支部看護研究発表会	擦式アルコール消毒剤の使用回数 を目指した病院全体での取り組み
笹川 拓也	放射線	2019年 10月	CMS学会	医療被ばく管理を見据えた 装置更新から見えてきた事
笹川 拓也	放射線	2020年 2月	全国病院経営管理学会 診療放射線業務委員会 報告会	診療放射線業務委員会QI事例報告
野本 隆之	検査科	2019年 10月	第56回日臨技・首都圏支部・関甲信支部 医学検査学会	整形外科手術周術期における フィブリンモノマー複合体の 有用性の検討
石川 久美子	訪看	2020年 3月	(株)明治 看護師向け情報誌 Nice!	特集「在宅移行支援・在宅ケア」 お仕事スケッチ

病院組織図

吉川中央総合病院 組織図

令和1年12月1日 改訂

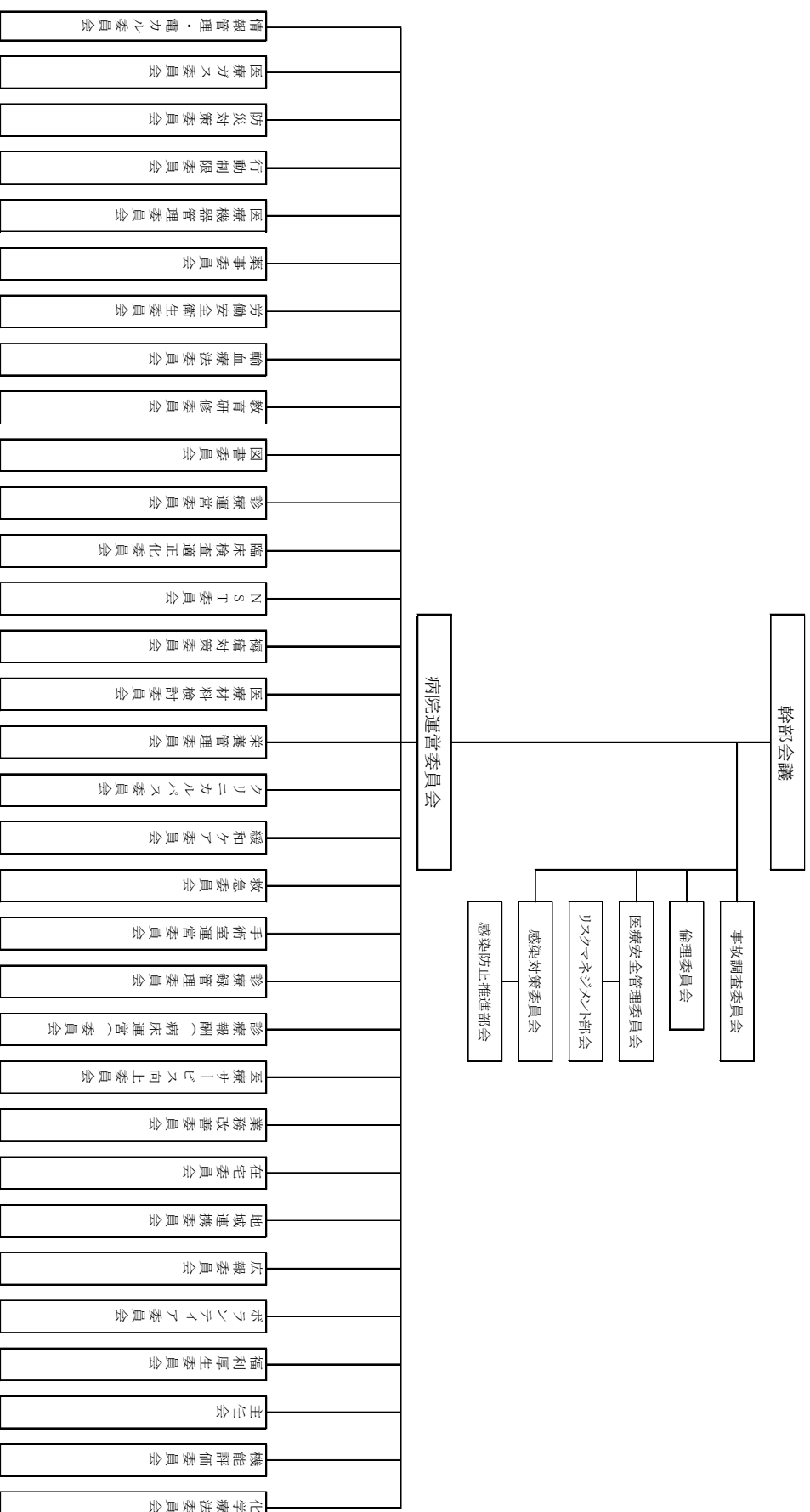


付帯施設
介護支援事業所吉川中央
吉川市第3地区包括支援センター

委員会組織図

吉川中央総合病院 委員会・会議組織図

平成29年5月1日改訂



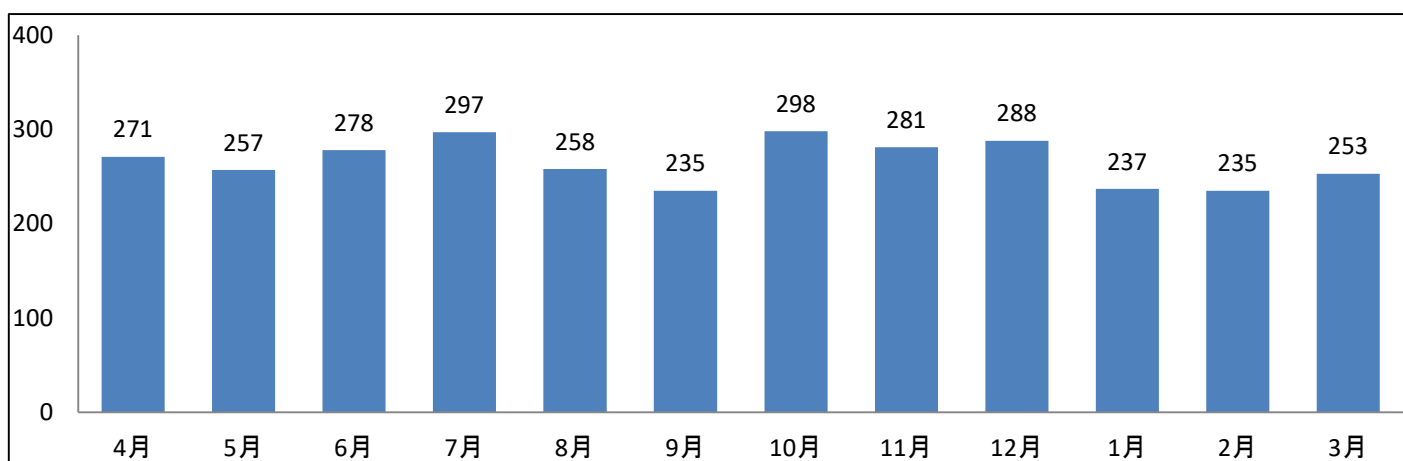
2019年度 臨床実績 年次報告

2020年3月31日現在

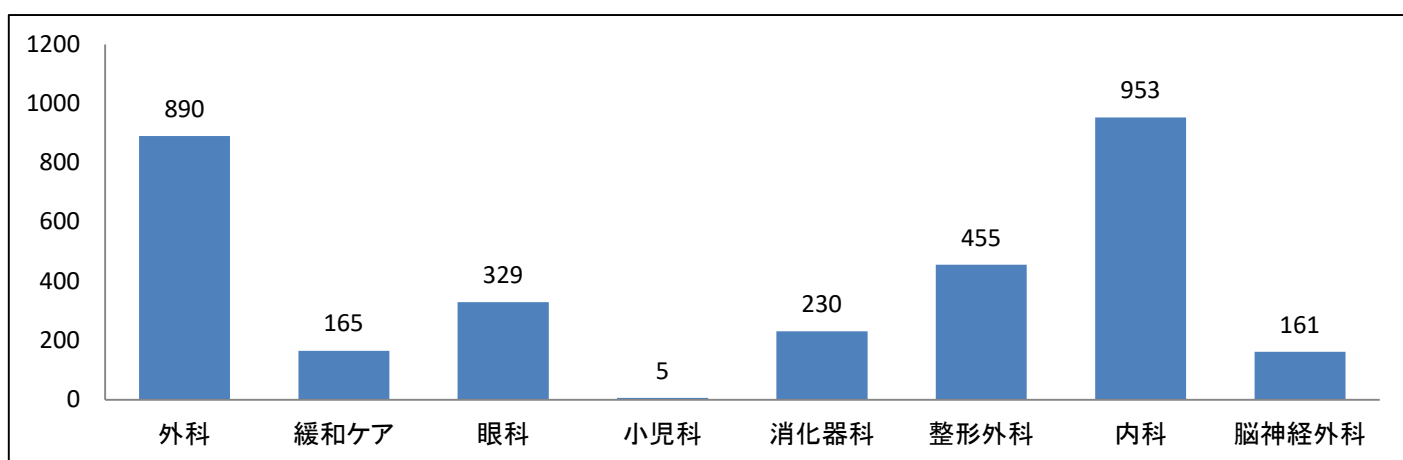
【2019年度 診療科別・月別 新規入院患者数】

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
外科	83	68	80	89	66	59	75	79	82	62	65	82	890
緩和ケア	17	10	12	13	14	21	18	14	13	15	8	10	165
眼科	22	30	38	52	31	15	21	33	15	34	18	20	329
小児科	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	5
消化器科	13	17	31	22	14	25	30	15	20	19	12	12	230
整形外科	41	31	31	41	33	27	45	48	53	28	38	39	455
内科	82	87	74	69	85	72	90	75	90	72	80	77	953
脳神経外科	13	13	11	11	15	16	19	15	14	7	14	13	161
総計	271	257	278	297	258	235	298	281	288	237	235	253	3188

【月別 新規入院患者数】



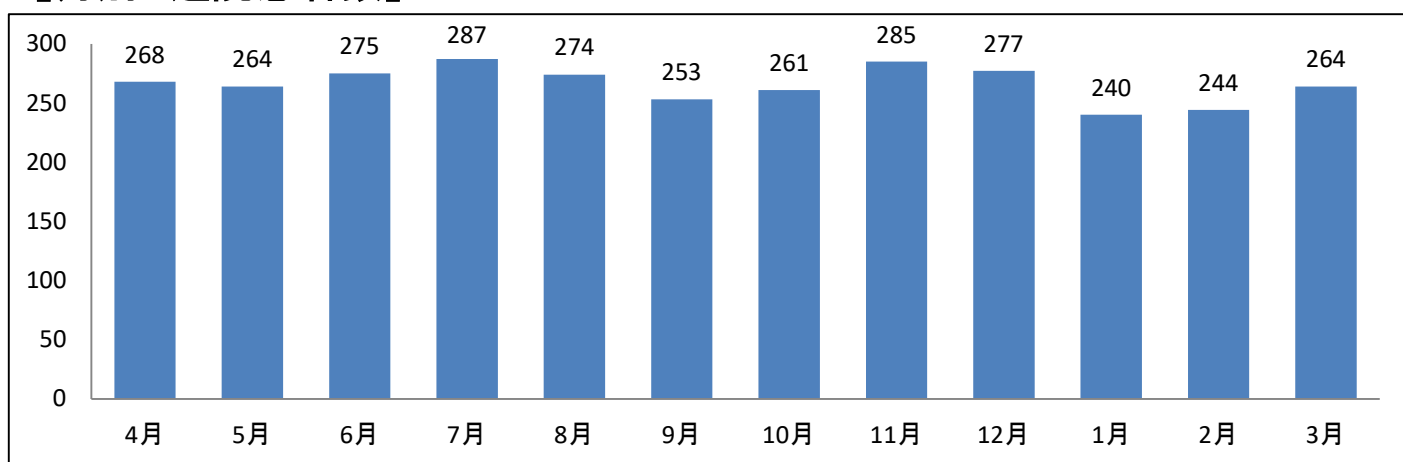
【診療科別 新規入院患者数】



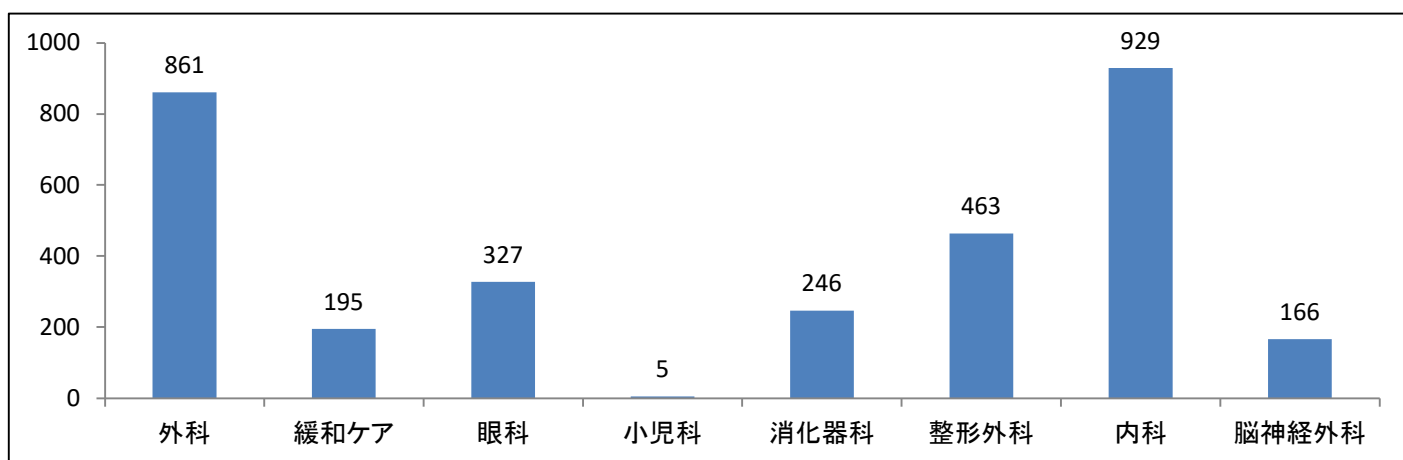
【2019年度 診療科別・月別 退院患者数】

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
外科	79	69	83	82	71	62	60	76	84	54	61	80	861
緩和ケア	20	12	15	21	19	22	20	19	15	11	9	12	195
眼科	22	29	39	52	31	15	17	35	15	34	18	20	327
小児科	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	5
消化器科	17	20	23	22	18	28	31	20	20	18	17	12	246
整形外科	41	42	30	37	33	33	40	42	42	37	40	46	463
内科	73	78	70	67	80	77	80	79	81	80	88	76	929
脳神経外科	16	13	14	6	22	16	13	12	19	6	11	18	166
総計	268	264	275	287	274	253	261	285	277	240	244	264	3192

【月別 退院患者数】



【診療科別 退院患者数】



【2019年度 診療科別・在院期間別・性別・退院患者数】

診療科	性別	1～8日	～15日	～22日	～31日	～61日	～91日	～6ヶ月	～1年	1年以上	総計
外科	女	162	104	38	26	24	0	1	0	0	355
	男	263	139	40	35	23	4	2	0	0	506
	計	425	243	78	61	47	4	3	0	0	861
緩和ケア	女	34	13	18	11	13	7	1	0	0	97
	男	35	18	13	11	15	4	0	2	0	98
	計	69	31	31	22	28	11	1	2	0	195
眼科	女	181	0	0	0	0	0	0	0	0	181
	男	146	0	0	0	0	0	0	0	0	146
	計	327	0	0	0	0	0	0	0	0	327
小児科	女	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
消化器科	女	72	9	9	4	7	1	1	0	0	103
	男	89	21	17	3	11	1	1	0	0	143
	計	161	30	26	7	18	2	2	0	0	246
整形外科	女	52	22	18	28	84	41	14	1	0	260
	男	62	47	23	16	31	17	6	1	0	203
	計	114	69	41	44	115	58	20	2	0	463
内科	女	119	73	79	62	91	36	39	28	7	534
	男	101	69	57	44	58	26	21	9	10	395
	計	220	142	136	106	149	62	60	37	17	929
脳神経外科	女	15	11	11	6	15	6	10	2	0	76
	男	25	15	16	5	9	10	8	2	0	90
	計	40	26	27	11	24	16	18	4	0	166
総計	女	638	232	173	137	234	91	66	31	7	1609
	男	723	309	166	114	147	62	38	14	10	1583
	計	1361	541	339	251	381	153	104	45	17	3192

【2019年度 診療科別・年齢層・性別・退院患者数】

診療科	性別	0～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60～64歳	65～69歳	70代	80代	90歳以上	総計
外科	女	0	4	16	9	30	27	18	35	119	74	23	355
	男	0	8	18	26	45	58	40	51	146	97	17	506
	計	0	12	34	35	75	85	58	86	265	171	40	861
緩和ケア	女	0	0	0	3	6	9	11	11	37	16	4	97
	男	0	0	0	3	5	6	7	15	35	24	3	98
	計	0	0	0	6	11	15	18	26	72	40	7	195
眼科	女	1	1	0	0	4	0	2	18	98	51	6	181
	男	0	0	0	1	2	4	15	14	76	33	1	146
	計	1	1	0	1	6	4	17	32	174	84	7	327
小児科	女	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
消化器科	女	0	0	1	2	4	7	2	8	49	24	6	103
	男	0	0	3	2	7	19	10	23	49	30	0	143
	計	0	0	4	4	11	26	12	31	98	54	6	246
整形外科	女	3	6	1	4	8	14	8	22	83	86	25	260
	男	5	10	19	13	25	29	11	16	36	31	8	203
	計	8	16	20	17	33	43	19	38	119	117	33	463
内科	女	0	2	4	7	23	11	9	15	98	193	172	534
	男	0	3	5	6	15	21	11	30	119	141	44	395
	計	0	5	9	13	38	32	20	45	217	334	216	929
脳神経外科	女	0	1	1	1	2	7	1	4	14	30	15	76
	男	0	0	3	1	3	15	5	9	30	21	3	90
	計	0	1	4	2	5	22	6	13	44	51	18	166
総計	女	6	15	23	26	77	75	51	113	498	474	251	1609
	男	7	21	48	52	102	152	99	158	491	377	76	1583
	計	13	36	71	78	179	227	150	271	989	851	327	3192

【2019年度 診療科別・診療圏別 退院患者数】

診療科	性別	吉川市	越谷市	三郷市	八潮市	草加市	松伏町	野田市	県内 その他	埼玉 県外	総計
外科	女	230	67	7	1	14	22	1	3	10	355
	男	338	70	35	5	15	18	4	12	9	506
	計	568	137	42	6	29	40	5	15	19	861
緩和ケア	女	10	45	3	1	28	2	0	7	1	97
	男	23	39	12	3	9	6	0	2	4	98
	計	33	84	15	4	37	8	0	9	5	195
眼科	女	146	10	0	2	2	12	2	0	7	181
	男	117	6	3	2	2	10	0	2	4	146
	計	263	16	3	4	4	22	2	2	11	327
小児科	女	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	4	0	0	0	0	1	0	0	0	5
消化器科	女	65	15	2	0	12	3	1	0	5	103
	男	95	13	4	0	19	4	0	1	7	143
	計	160	28	6	0	31	7	1	1	12	246
整形外科	女	170	42	7	3	7	18	0	2	11	260
	男	126	32	12	1	7	18	0	5	2	203
	計	296	74	19	4	14	36	0	7	13	463
内科	女	295	131	16	2	20	24	2	14	30	534
	男	218	101	17	0	18	21	2	8	10	395
	計	513	232	33	2	38	45	4	22	40	929
脳神経 外科	女	40	18	1	1	2	11	0	1	2	76
	男	49	20	4	1	1	8	0	3	4	90
	計	89	38	5	2	3	19	0	4	6	166
総計	女	958	328	36	10	85	93	6	27	66	1609
	男	968	281	87	12	71	85	6	33	40	1583
	計	1926	609	123	22	156	178	12	60	106	3192

【2019年度 疾病分類(大分類)別・診療科別・性別 退院患者数】

類番	国際疾病分類	性別	内科	外科	整形 外科	消化 器科	小児科	眼科	脳神経 外科	緩和 ケア科	総計
I	感染症及び寄生虫	女	28	24	0	2	0	0	0	0	54
		男	23	33	0	3	0	0	0	0	59
		計	51	57	0	5	0	0	0	0	113
II	新生物	女	32	65	1	18	0	0	6	88	210
		男	23	100	4	44	0	0	1	92	264
		計	55	165	5	62	0	0	7	180	474
III	血液および造血器の疾患ならびに 免疫機構の障害	女	7	3	0	1	0	0	0	3	14
		男	10	1	0	1	0	0	1	0	13
		計	17	4	0	2	0	0	1	3	27
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	女	16	4	1	1	1	0	0	0	23
		男	27	1	0	1	1	0	0	0	30
		計	43	5	1	2	2	0	0	0	53
V	精神および行動の障害	女	4	0	0	3	0	0	0	0	7
		男	7	0	0	0	0	0	0	0	7
		計	11	0	0	3	0	0	0	0	14
VI	神経系疾患	女	19	1	0	4	0	0	13	1	38
		男	18	0	1	3	0	0	14	0	36
		計	37	1	1	7	0	0	27	1	74
VII	眼および付属器の疾患	女	0	0	0	0	0	181	0	0	181
		男	0	0	0	0	0	144	0	0	144
		計	0	0	0	0	0	325	0	0	325
VIII	耳および乳様突起の疾患	女	17	0	0	1	0	0	6	0	24
		男	7	0	0	0	0	0	4	0	11
		計	24	0	0	1	0	0	10	0	35
IX	循環器系疾患	女	69	2	0	12	0	0	38	0	121
		男	34	7	0	3	0	0	54	1	99
		計	103	9	0	15	0	0	92	1	220
X	呼吸器疾患	女	231	4	4	6	2	0	0	2	249
		男	171	20	2	3	1	0	1	4	202
		計	402	24	6	9	3	0	1	6	451
X I	消化器系の疾患	女	32	234	1	52	0	0	0	0	319
		男	26	322	0	83	0	0	1	0	432
		計	58	556	1	135	0	0	1	0	751
X II	皮膚および皮下組織の疾患	女	4	3	1	0	0	0	0	2	10
		男	4	9	4	0	0	0	0	0	17
		計	8	12	5	0	0	0	0	2	27
X III	筋骨格系および結合組織の疾患	女	4	2	44	1	0	0	0	0	51
		男	2	0	43	0	0	0	0	0	45
		計	6	2	87	1	0	0	0	0	96
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	女	54	9	0	0	0	0	0	0	63
		男	27	8	1	1	0	0	0	1	38
		計	81	17	1	1	0	0	0	1	101
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		男	1	2	0	0	0	2	0	0	5
		計	1	2	0	0	0	2	0	0	5
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	女	17	4	208	2	0	0	13	1	245
		男	15	3	148	1	0	0	14	0	181
		計	32	7	356	3	0	0	27	1	426
総計		女	534	355	260	103	3	181	76	97	1609
		男	395	506	203	143	2	146	90	98	1583
		計	929	861	463	246	5	327	166	195	3192

【2019年度 疾病分類(大分類)別・在院期間別・性別 退院患者数】

類番	国際疾病分類	性別	1～8日	～15日	～22日	～31日	～61日	～91日	～6ヶ月	～1年	1年 以上	総計
I	感染症及び寄生虫	女	22	10	3	1	7	3	4	4	0	54
		男	25	10	6	4	8	4	1	1	0	59
		計	47	20	9	5	15	7	5	5	0	113
II	新生物	女	80	30	31	21	34	10	3	1	0	210
		男	99	58	32	25	37	6	4	2	1	264
		計	179	88	63	46	71	16	7	3	1	474
III	血液および 造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	女	6	2	2	2	1	0	1	0	0	14
		男	2	3	2	2	3	1	0	0	0	13
		計	8	5	4	4	4	1	1	0	0	27
IV	内分泌、栄養および 代謝疾患	女	8	2	2	1	5	0	1	3	1	23
		男	9	7	4	4	1	3	1	1	0	30
		計	17	9	6	5	6	3	2	4	1	53
V	精神および 行動の障害	女	5	2	0	0	0	0	0	0	0	7
		男	6	0	0	0	0	1	0	0	0	7
		計	11	2	0	0	0	1	0	0	0	14
VI	神経系疾患	女	14	3	6	3	3	3	4	1	1	38
		男	16	3	2	1	5	1	2	2	4	36
		計	30	6	8	4	8	4	6	3	5	74
VII	眼および 付属器の疾患	女	181	0	0	0	0	0	0	0	0	181
		男	144	0	0	0	0	0	0	0	0	144
		計	325	0	0	0	0	0	0	0	0	325
VIII	耳および 乳様突起の疾患	女	19	2	3	0	0	0	0	0	0	24
		男	10	1	0	0	0	0	0	0	0	11
		計	29	3	3	0	0	0	0	0	0	35
IX	循環器系疾患	女	29	15	15	7	24	8	12	11	0	121
		男	23	14	15	7	17	7	7	8	1	99
		計	52	29	30	14	41	15	19	19	1	220
X	呼吸器疾患	女	32	36	40	43	48	20	14	14	2	249
		男	29	57	41	26	25	12	7	5	0	202
		計	61	93	81	69	73	32	21	19	2	451
X I	消化器系の疾患	女	156	91	31	19	13	3	2	2	2	319
		男	264	96	34	18	15	5	0	0	0	432
		計	420	187	65	37	28	8	2	2	2	751
X II	皮膚および皮下組織の疾患	女	2	2	1	1	2	1	1	0	0	10
		男	5	6	2	3	0	1	0	0	0	17
		計	7	8	3	4	2	2	1	0	0	27
X III	筋骨格系および 結合組織の疾患	女	7	8	8	8	16	1	2	1	0	51
		男	6	20	9	0	5	3	1	0	1	45
		計	13	28	17	8	21	4	3	1	1	96
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	女	14	11	14	7	10	2	3	1	1	63
		男	13	4	4	8	4	1	4	0	0	38
		計	27	15	18	15	14	3	7	1	1	101
X VII	先天奇形、変形及び 染色体異常	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		男	4	0	0	0	1	0	0	0	0	5
		計	4	0	0	0	1	0	0	0	0	5
X IX	損傷、中毒および その他の外因の影響	女	63	18	17	24	71	40	11	1		245
		男	68	30	15	16	26	17	4	2	3	181
		計	131	48	32	40	97	57	15	3	3	426
総計		女	638	232	173	137	234	91	58	39	7	1609
		男	723	309	166	114	147	62	31	21	10	1583
		計	1361	541	339	251	381	153	89	60	17	3192

【2019年度 疾病分類(大分類)別・年齢層別・性別 退院患者数】

類番	国際疾病分類	性別	0～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70代	80代	90歳 以上	総計
I	感染症及び寄生虫	女	0	0	9	2	5	2	2	3	11	12	8	54
		男	0	3	7	5	3	3	0	4	13	19	2	59
		計	0	3	16	7	8	5	2	7	24	31	10	113
II	新生物	女	0	0	0	2	12	14	13	20	85	49	15	210
		男	0	0	1	7	11	23	14	35	96	68	9	264
		計	0	0	1	9	23	37	27	55	181	117	24	474
III	血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害	女	0	0	0	0	2	0	0	3	3	3	3	14
		男	0	0	0	0	0	1	1	2	2	5	2	13
		計	0	0	0	0	2	1	1	5	5	8	5	27
IV	内分泌、栄養および 代謝疾患	女	1	0	0	0	1	2	1	1	4	8	5	23
		男	1	0	1	0	5	3	1	2	7	7	3	30
		計	2	0	1	0	6	5	2	3	11	15	8	53
V	精神および行動の障害	女	0	0	0	0	4	1	0	0	1	0	1	7
		男	0	0	1	2	1	1	0	2	0	0	0	7
		計	0	0	1	2	5	2	0	2	1	0	1	14
VI	神経系疾患	女	0	1	1	0	2	1	1	6	9	16	1	38
		男	0	0	3	1	1	3	1	7	16	4	0	36
		計	0	1	4	1	3	4	2	13	25	20	1	74
VII	眼および付属器の疾患	女	1	1	0	0	4	0	2	18	98	51	6	181
		男	0	0	0	1	2	2	15	14	76	33	1	144
		計	1	1	0	1	6	2	17	32	174	84	7	325
VIII	耳および乳様突起の疾患	女	0	0	0	0	4	2	0	3	7	8	0	24
		男	0	0	0	0	1	1	2	2	3	2	0	11
		計	0	0	0	0	5	3	2	5	10	10	0	35
IX	循環器系疾患	女	0	1	0	1	2	4	0	1	23	40	49	121
		男	0	0	1	0	3	13	4	11	30	32	5	99
		計	0	1	1	1	5	17	4	12	53	72	54	220
X	呼吸器疾患	女	1	2	3	7	5	4	2	3	36	96	90	249
		男	1	2	4	1	5	4	6	14	58	81	26	202
		計	2	4	7	8	10	8	8	17	94	177	116	451
X I	消化器系の疾患	女	0	4	7	7	24	26	17	29	107	75	23	319
		男	0	4	9	20	38	54	39	47	132	76	13	432
		計	0	8	16	27	62	80	56	76	239	151	36	751
X II	皮膚および皮下組織の疾患	女	0	0	0	0	0	0	1	1	4	3	1	10
		男	0	0	0	0	6	1	3	1	5	1	0	17
		計	0	0	0	0	6	1	4	2	9	4	1	27
X III	筋骨格系および 結合組織の疾患	女	0	0	1	0	1	4	1	6	19	17	2	51
		男	0	1	1	2	6	9	4	5	11	3	3	45
		計	0	1	2	2	7	13	5	11	30	20	5	96
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	女	0	0	2	2	3	2	0	0	18	18	18	63
		男	0	0	1	1	3	4	0	2	11	11	5	38
		計	0	0	3	3	6	6	0	2	29	29	23	101
X VII	先天奇形、変形及び 染色体異常	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		男	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	5
		計	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	5
X IX	損傷、中毒および その他の外因の影響	女	3	6	0	5	8	13	11	19	73	78	29	245
		男	5	10	18	12	17	28	9	10	31	34	7	181
		計	8	16	18	17	25	41	20	29	104	112	36	426
総計		女	6	15	23	26	77	75	51	113	498	474	251	1609
		男	7	21	48	52	102	152	99	158	491	377	76	1583
		計	13	36	71	78	179	227	150	271	989	851	327	3192

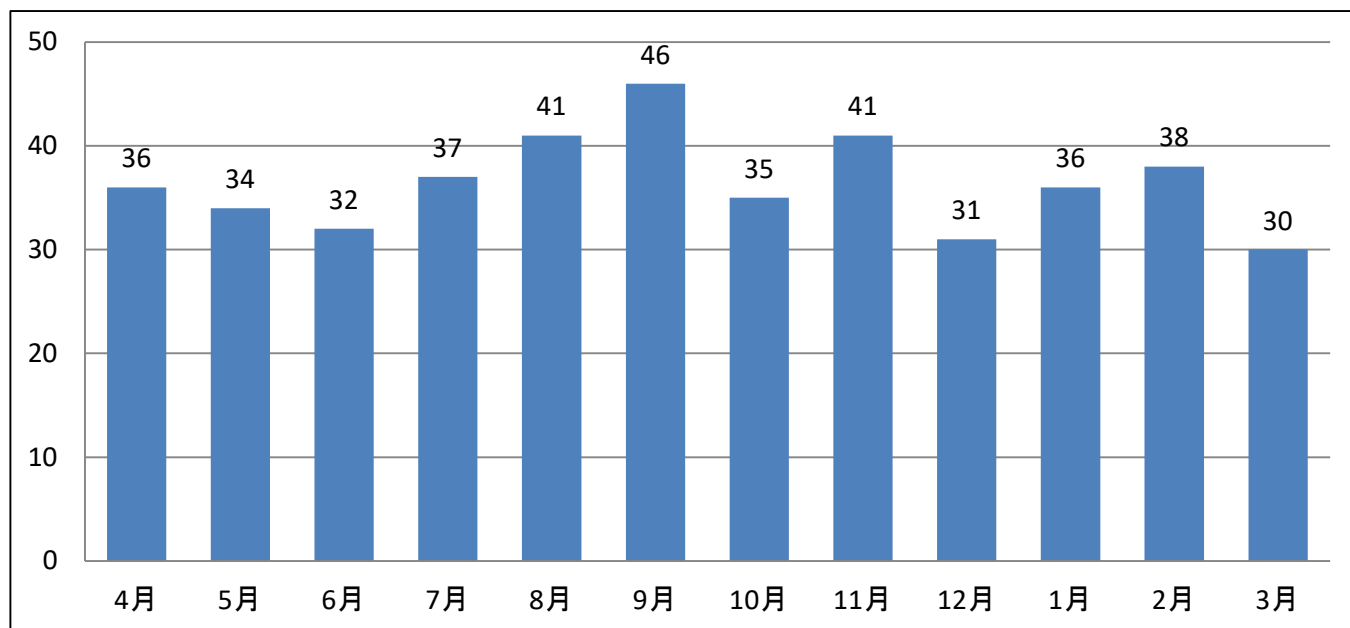
【2019年度 疾病分類(大分類)別・診療圏別・性別 退院患者数】

類番	国際疾病分類	性別	吉川市	越谷市	三郷市	松伏町	八潮市	草加市	野田市	県内 その他	埼玉 県外	総計
I	感染症及び寄生虫	女	33	13	2	4	0	1	0	0	1	54
		男	33	17	2	2	1	0	1	1	2	59
		計	66	30	4	6	1	1	1	1	3	113
II	新生物	女	94	55	5	5	1	35	0	9	6	210
		男	129	53	25	11	2	32	0	5	7	264
		計	223	108	30	16	3	67	0	14	13	474
III	血液および 造血器の疾患 ならびに免疫機構の障害	女	6	4	0	0	1	1	0	1	1	14
		男	7	1	1	4	0	0	0	0	0	13
		計	13	5	1	4	1	1	0	1	1	27
IV	内分泌、栄養および 代謝疾患	女	17	4	0	1	0	1	0	0	0	23
		男	20	6	1	1	0	1	0	0	1	30
		計	37	10	1	2	0	2	0	0	1	53
V	精神および行動の障害	女	5	0	1	0	0	0	0	0	1	7
		男	4	1	0	0	0	0	0	2	0	7
		計	9	1	1	0	0	0	0	2	1	14
VI	神経系疾患	女	16	10	2	2	0	3	0	3	2	38
		男	17	9	2	3	0	2	0	2	1	36
		計	33	19	4	5	0	5	0	5	3	74
VII	眼および付属器の疾患	女	146	10	0	12	2	2	2	0	7	181
		男	115	6	3	10	2	2	0	2	4	144
		計	261	16	3	22	4	4	2	2	11	325
VIII	耳および乳様突起の疾患	女	12	8	0	3	0	0	0	0	1	24
		男	3	6	0	1	0	1	0	0	0	11
		計	15	14	0	4	0	1	0	0	1	35
IX	循環器系疾患	女	68	28	3	10	0	7	0	0	5	121
		男	59	21	7	5	0	0	2	3	2	99
		計	127	49	10	15	0	7	2	3	7	220
X	呼吸器疾患	女	118	73	5	16	1	15	3	4	14	249
		男	107	61	6	12	1	8	0	2	5	202
		計	225	134	11	28	2	23	3	6	19	451
X I	消化器系の疾患	女	206	57	8	18	1	11	1	4	13	319
		男	303	49	24	15	4	13	3	8	13	432
		計	509	106	32	33	5	24	4	12	26	751
X II	皮膚および 皮下組織の疾患	女	4	2	0	1	0	1	0	1	1	10
		男	12	4	0	0	0	1	0	0	0	17
		計	16	6	0	1	0	2	0	1	1	27
X III	筋骨格系および 結合組織の疾患	女	37	8	1	1	0	1	0	1	2	51
		男	33	3	3	4	0	1	0	1	0	45
		計	70	11	4	5	0	2	0	2	2	96
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	女	39	16	1	2	0	1	0	2	2	63
		男	21	10	2	2	0	1	0	1	1	38
		計	60	26	3	4	0	2	0	3	3	101
X VII	先天奇形、変形及び 染色体異常	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		男	3	1	1	0	0	0	0	0	0	5
		計	3	1	1	0	0	0	0	0	0	5
X IX	損傷、中毒および その他の外因の影響	女	157	40	8	18	4	6	0	2	10	245
		男	102	33	10	15	2	9	0	6	4	181
		計	259	73	18	33	6	15	0	8	14	426
総計		女	958	328	36	93	10	85	6	27	66	1609
		男	968	281	87	85	12	71	6	33	40	1583
		計	1926	609	123	178	22	156	12	60	106	3192

【2019年度 診療科別・月別・性別 死亡退院患者数】

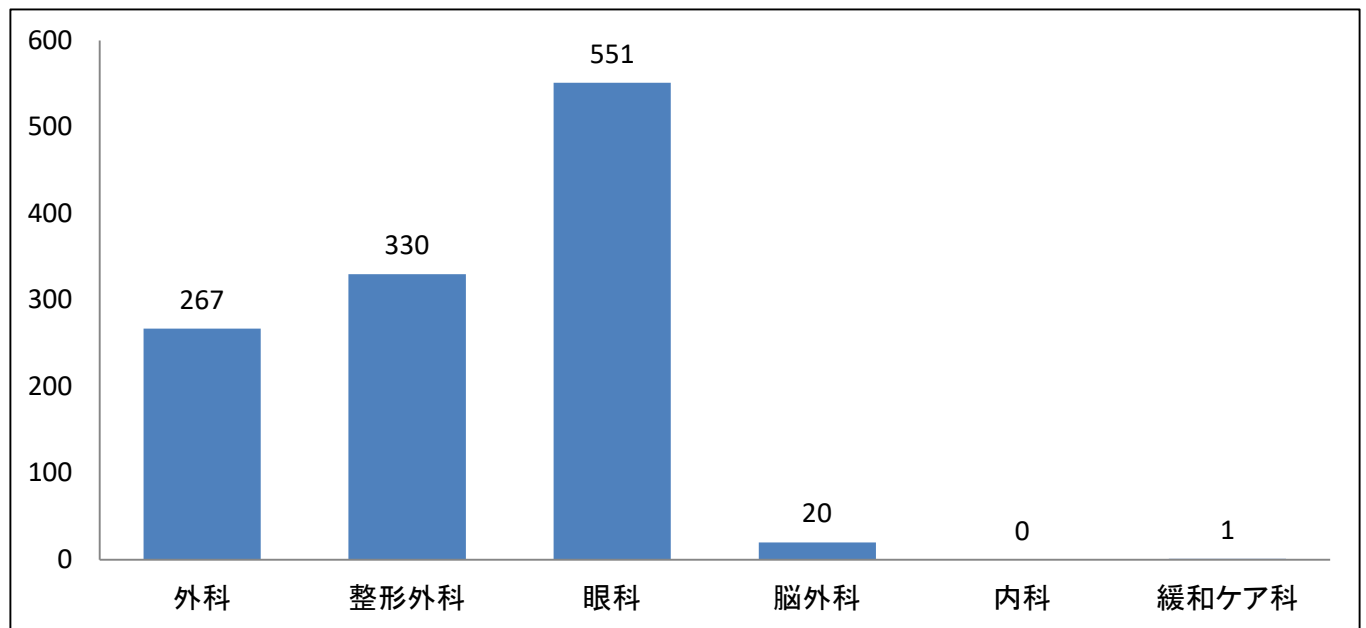
診療科	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	診療科 総計
外科	計	3	3	5	1	8	1	2	3	1	4	2	2	35
	女	2	2	2	1	7	1	0	2	0	1	1	0	19
	男	1	1	3	0	1	0	2	1	1	3	1	2	16
緩和ケア	計	11	10	13	12	10	14	12	15	13	8	8	8	134
	女	7	4	7	4	7	6	4	7	6	6	3	4	65
	男	4	6	6	8	3	8	8	8	7	2	5	4	69
消化器科	計	2	2	1	0	0	3	3	2	1	3	2	0	19
	女	1	1	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0	8
	男	1	1	1	0	0	1	3	0	1	1	2	0	11
整形外科	計	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
	女	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	男	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
内科	計	18	19	11	24	22	28	17	18	14	21	25	18	235
	女	10	6	8	16	17	22	13	4	9	10	18	9	142
	男	8	13	3	8	5	6	4	14	5	11	7	9	93
脳神経外科	計	2	0	2	0	1	0	0	1	1	0	1	2	10
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	4
	男	1	0	2	0	1	0	0	1	0	0	1	0	6
月別総計	計	36	34	32	37	41	46	35	41	31	36	38	30	437
	女	21	13	17	21	31	31	18	16	16	19	22	15	240
	男	15	21	15	16	10	15	17	25	15	17	16	15	197

【2019年度 疾病分類(大分類)別・在院期間別・性別 退院患者数】



【2019年度 診療科別・月別手術件数】

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総件数
外科	28	22	19	27	19	17	23	22	28	17	17	28	267
整形外科	25	22	24	29	27	23	25	37	38	22	31	27	330
眼科	36	57	55	76	45	45	42	53	27	50	28	37	551
脳外科	1	0	0	0	0	3	2	3	3	1	1	6	20
内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
総計	90	101	98	132	91	88	92	115	96	90	77	99	1169



【2019年度 診療科別 退院患者統計】

[外科]

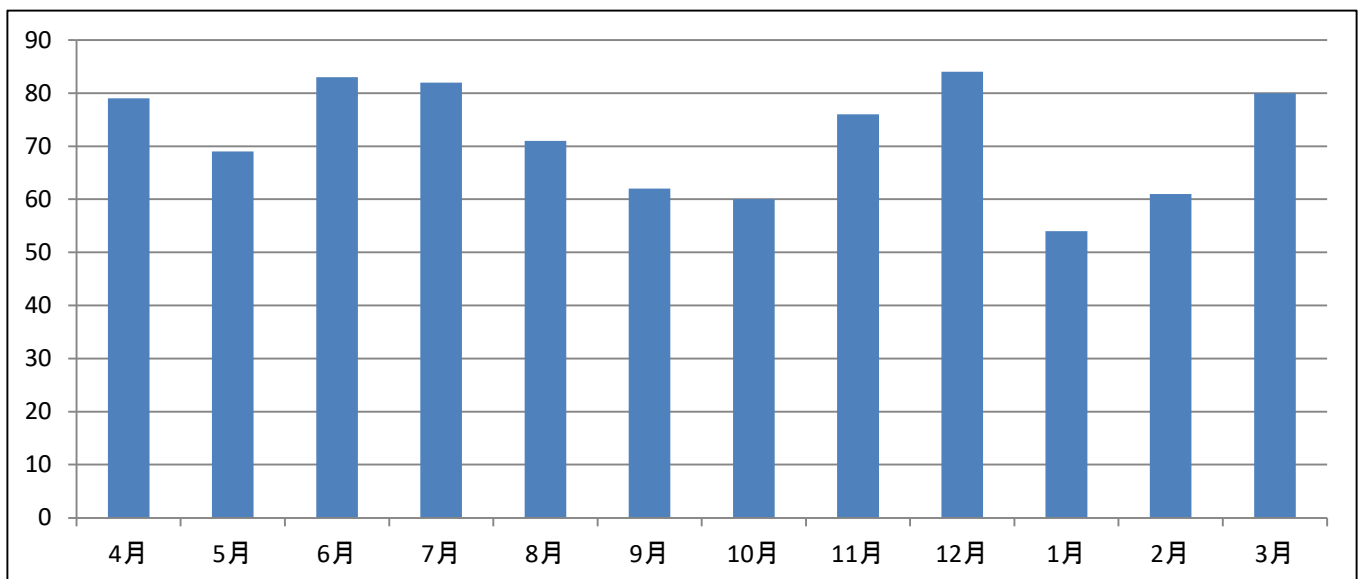
上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名（小分類）	件数
1	K635	大腸〈結腸〉のポリープ	121
2	K573	大腸の憩室性疾患	44
3	K801	胆のう炎を伴う胆のう結石	35
4	K409	鼠径ヘルニア、閉塞及び壊疽を伴わないもの	30
5	K358	急性虫垂炎、その他及び詳細不明	30

上位術式

順位	Kコード	術式	件数
1	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除（直径2cm未満）	156
2	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	50
3	K654	内視鏡的消化管止血術	26
4	K718-21	内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	25
5	K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	24

月別退院患者数



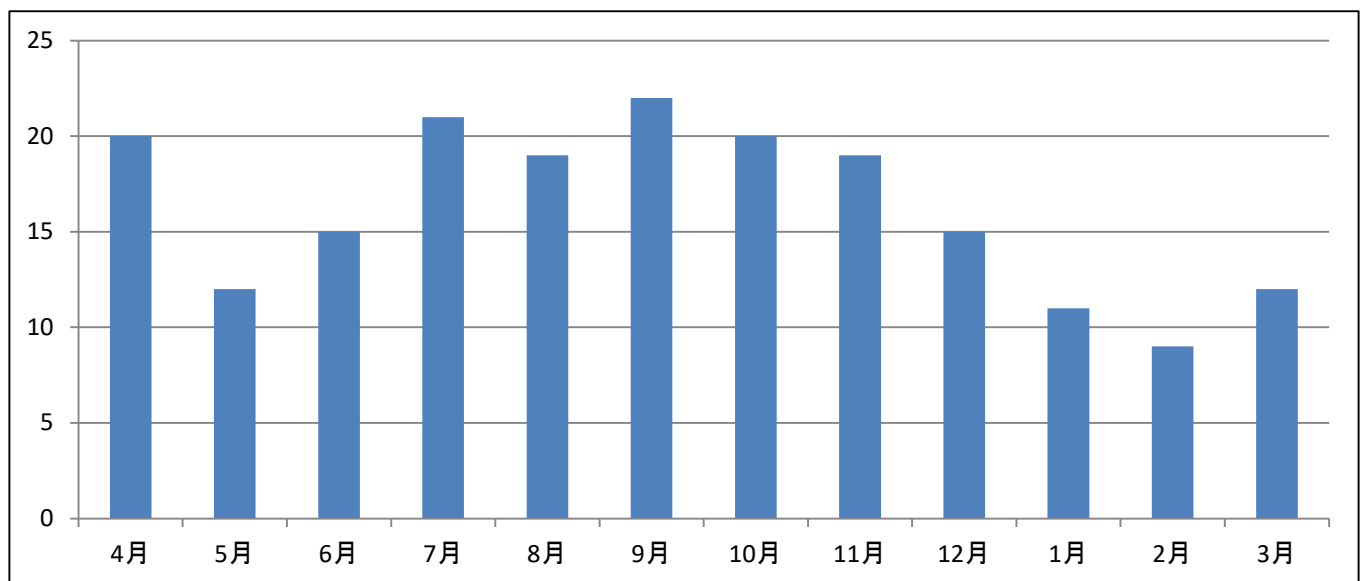
【2019年度 診療科別 退院患者統計】

[緩和ケア科]

上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名 (小分類)	件数
1	C341	肺癌【上葉、気管支又は肺】	13
2	C509	乳癌【詳細不明】	13
3	C349	肺癌【詳細不明】	12
4	C240	肝外胆管癌	9
5	C20	直腸癌	8

月別退院患者数



【2019年度 診療科別 退院患者統計】

[眼科]

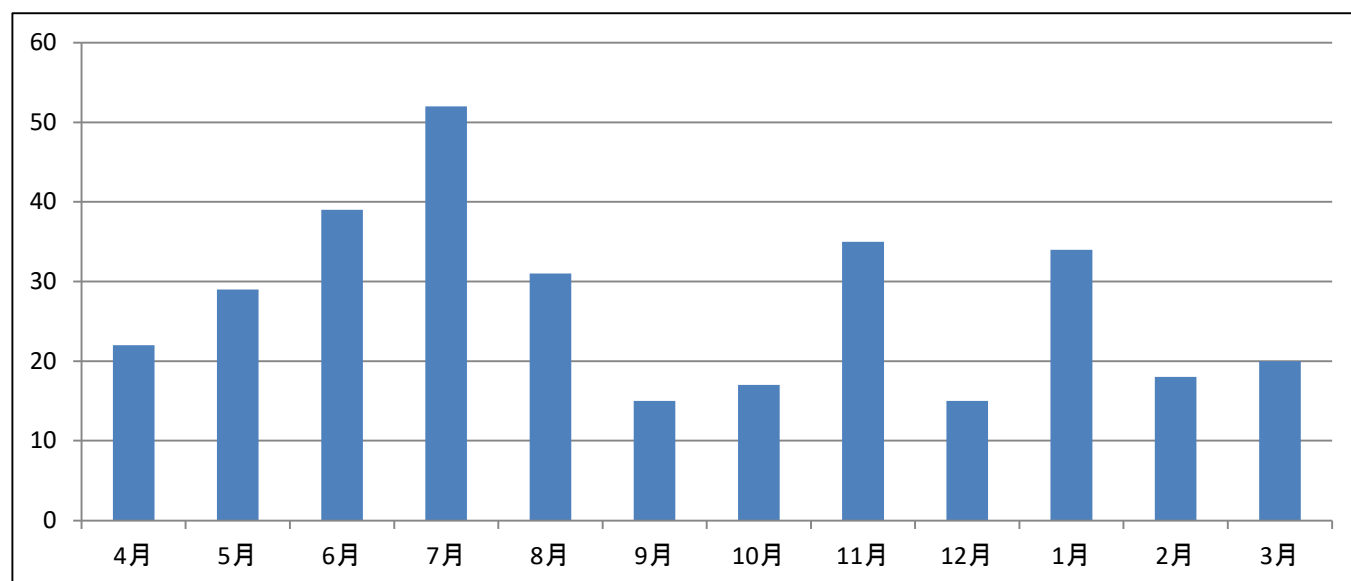
上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名（小分類）	件数
1	H250	老人性初発白内障	209
2	H251	老人性核白内障	84
3	H280	糖尿病性白内障	12
4	H260	初老期白内障	8
5	H258	その他の老人性白内障	6

上位術式

順位	Kコード	術式	件数
1	K282	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(その他)	323
2	K2423	斜視手術(前転法と後転法)	2
3	k2682	緑内障手術(流出路再建術)	1
4	k2822	水晶体再建術(眼内レンズを挿入しない場合)	1

月別退院患者数



【2019年度 診療科別 退院患者統計】

[消化器科]

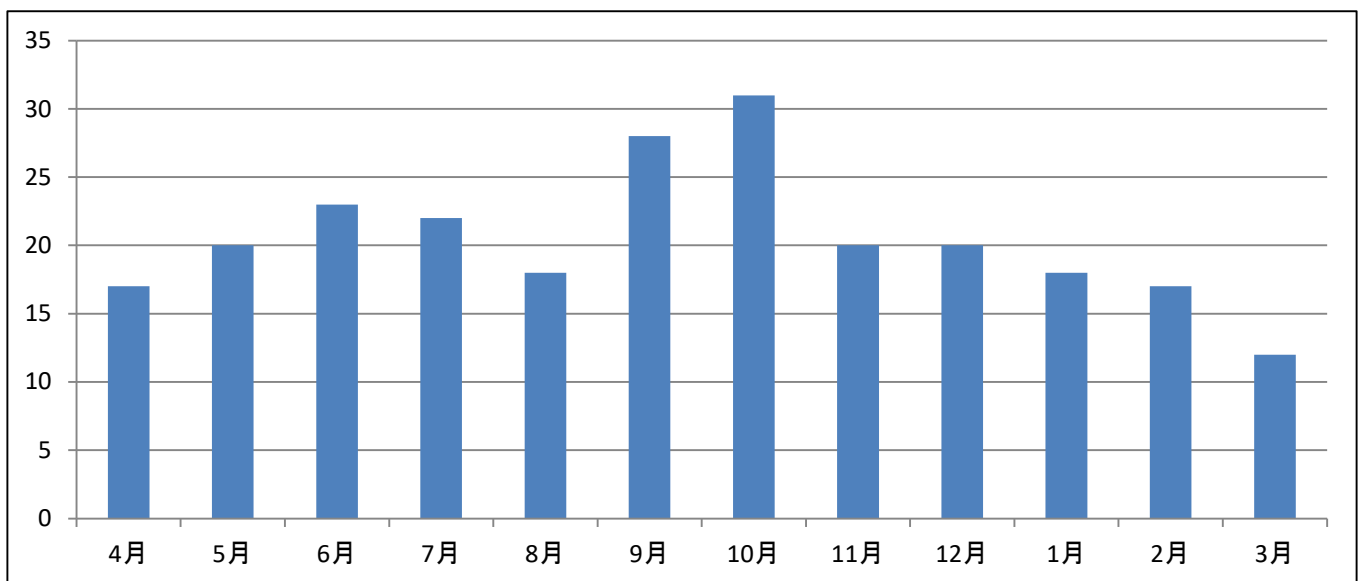
上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名（小分類）	件数
1	K635	大腸〈結腸〉のポリープ	68
2	K573	大腸の憩室性疾患	16
3	K703	アルコール性肝硬変	14
4	C220	肝細胞癌	12
5	C20	直腸癌	9

上位術式

順位	Kコード	術式	件数
1	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（直径2cm未満）	64

月別退院患者数



【2019年度 診療科別 退院患者統計】

[整形外科]

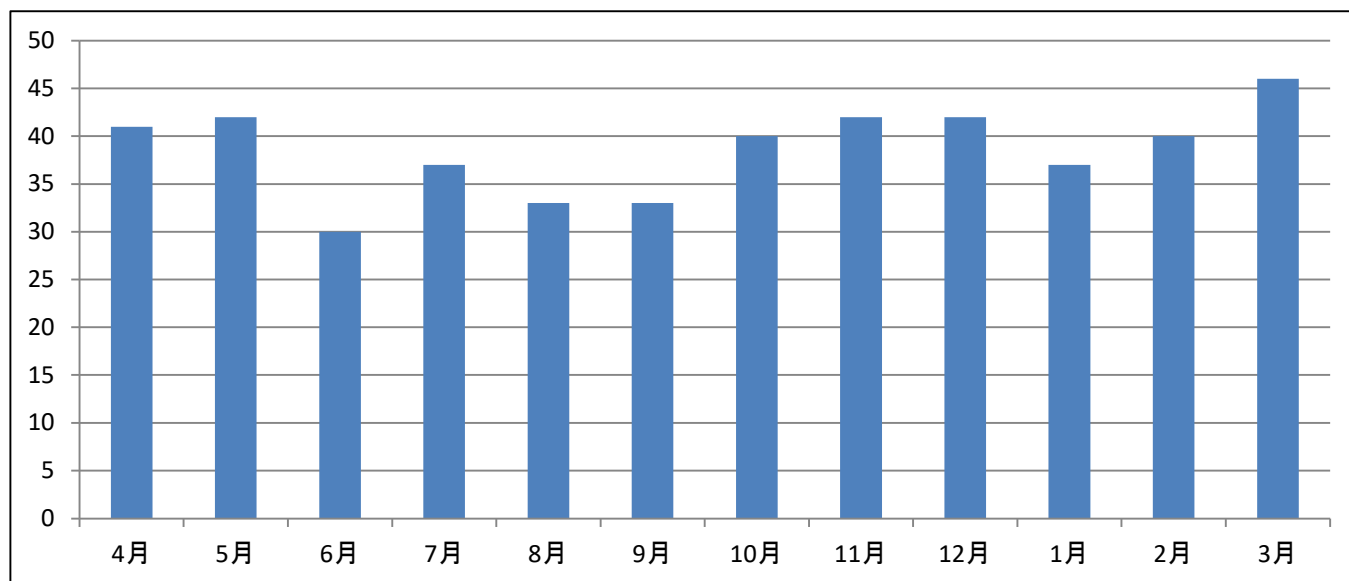
上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名（小分類）	件数
1	S7200	大腿骨頸部骨折	50
2	S3200	腰椎圧迫骨折	44
3	S5250	橈骨遠位端骨折	35
4	S7210	大腿骨転子部骨折	27
5	M4806	腰部脊柱管狭窄症	24

上位術式

順位	Kコード	術式	件数
1	K046	骨折観血の手術	111
2	K048	骨内異物(挿入物を含む)除去術	40
3	K082	人工関節置換術	37
4	K073	関節内骨折観血の手術	30
5	K047-3	関節鏡下関節滑膜切除術	12

月別退院患者数



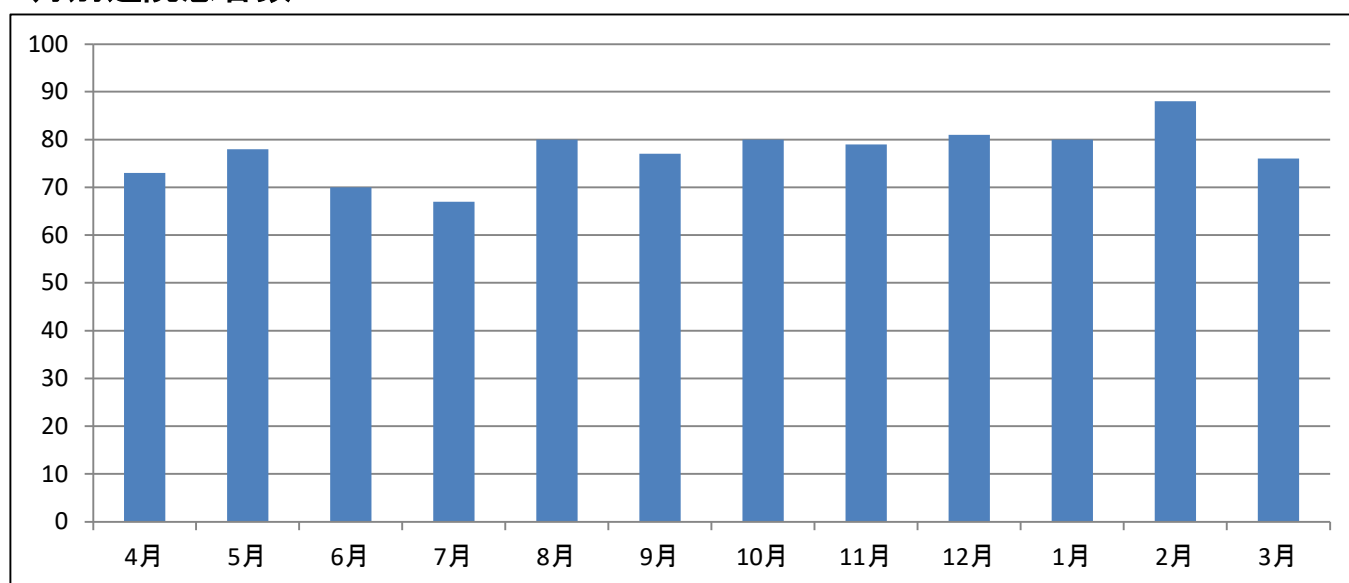
【2019年度 診療科別 退院患者統計】

[内科]

上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名（小分類）	件数
1	J189	急性肺炎	131
2	J690	誤嚥性肺炎	119
3	J159	細菌性肺炎	94
4	N390	尿路感染症	52
5	I500	うっ血性心不全	19

月別退院患者数



【2019年度 診療科別 退院患者統計】

[脳神経外科]

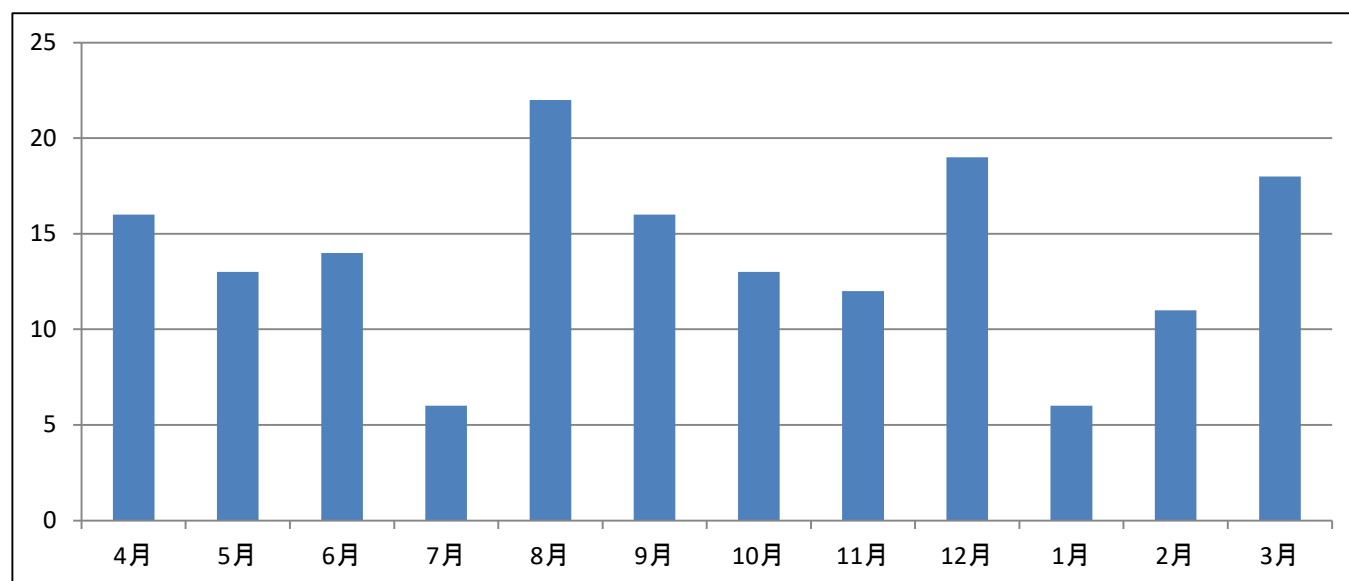
上位疾患

順位	ICD10	疾病分類名（小分類）	件数
1	I633	アテローム血栓性脳梗塞	72
2	S0650	外傷性硬膜下出血	17
3	I610	（大脳）半球の脳内出血	10
4	H811	良性発作性めまい	7
5	G912	正常圧水頭症	6

上位術式

順位	Kコード	術式	件数
1	K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	12
2	K1742	水頭症手術（シャント手術）	8

月別退院患者数



【2019年度 年齢別 新規外来患者数統計】

年齢区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	新来院患者数
0日～2歳未満	44	46	37	49	21	23	25	32	24	20	13	11	345
2歳～4歳未満	16	18	10	13	21	6	13	10	10	9	6	10	142
4歳～6歳未満	6	5	5	6	12	3	7	8	16	6	6	8	88
6歳～10歳未満	7	17	6	12	6	7	6	8	11	10	8	4	102
10歳～20歳未満	14	29	11	14	16	11	17	7	14	18	21	10	182
20歳～30歳未満	34	58	49	45	49	40	32	39	39	45	47	45	522
30歳～40歳未満	31	48	48	48	54	34	42	34	50	56	33	29	507
40歳～50歳未満	33	41	31	35	44	30	50	32	42	54	25	41	458
50歳～60歳未満	27	37	29	39	41	30	22	29	43	40	34	19	390
60歳～65歳未満	23	11	11	13	13	12	12	13	20	15	18	13	174
65歳～70歳未満	18	23	18	10	13	15	18	15	15	12	14	7	178
70歳～75歳未満	14	27	22	16	19	22	18	15	17	27	9	12	218
75歳～80歳未満	18	22	15	13	17	21	18	12	12	19	11	9	187
80歳～85歳未満	12	11	11	14	11	16	12	11	12	14	14	11	149
85歳～90歳未満	3	11	5	3	6	10	5	14	8	6	9	6	86
90歳以上	6	2	2	3	5	6	6	3	6	2	5	7	53
合計	306	406	310	333	348	286	303	282	339	353	273	242	3781

【2019年度 年齢別 外来患者件数統計】

実患者数： 22501名

年齢区分	初診						再診						総計						新来院患者数
	時間内	時間外	休日	深夜	特例時間外	計	時間内	時間外	休日	深夜	特例時間外	計	時間内	時間外	休日	深夜	特例時間外	計	
0日～2歳未満	864	1	30	1	20	916	1643	0	17	0	3	1663	2507	1	47	1	23	2579	345
2歳～4歳未満	925	0	34	2	22	983	2138	0	35	1	2	2176	3063	0	69	3	24	3159	142
4歳～6歳未満	949	0	40	2	16	1007	1979	0	38	0	2	2019	2928	0	78	2	18	3026	88
6歳～10歳未満	1718	0	14	2	13	1747	2520	0	2	0	2	2524	4238	0	16	2	15	4271	102
10歳～20歳未満	2343	0	61	12	50	2466	3093	0	3	0	4	3100	5436	0	64	12	54	5566	182
20歳～30歳未満	1514	3	116	60	71	1764	2090	0	12	6	7	2115	3604	3	128	66	78	3879	522
30歳～40歳未満	1618	1	133	57	66	1875	3123	0	12	2	8	3145	4741	1	145	59	74	5020	507
40歳～50歳未満	1818	0	127	66	75	2086	7602	0	24	10	13	7649	9420	0	151	76	88	9735	458
50歳～60歳未満	1279	0	82	40	54	1455	10262	1	58	9	19	10349	11541	1	140	49	73	11804	390
60歳～65歳未満	562	0	40	11	26	639	6487	0	12	4	9	6512	7049	0	52	15	35	7151	174
65歳～70歳未満	665	0	37	17	24	743	10276	1	20	6	11	10314	10941	1	57	23	35	11057	178
70歳～75歳未満	744	0	27	13	25	809	14755	1	26	8	12	14802	15499	1	53	21	37	15611	218
75歳～80歳未満	671	0	26	16	26	739	18640	0	33	7	23	18703	19311	0	59	23	49	19442	187
80歳～85歳未満	380	3	22	4	23	432	12983	2	31	9	21	13046	13363	5	53	13	44	13478	149
85歳～90歳未満	206	0	14	11	15	246	6974	1	9	7	11	7002	7180	1	23	18	26	7248	86
90歳以上	120	0	3	4	7	134	3777	2	12	4	6	3801	3897	2	15	8	13	3935	53
合計	16376	8	806	318	533	18041	108342	8	344	73	153	108920	124718	16	1150	391	686	126961	3781

2019年度 各部署 年次報告

2020年3月31日現在

看護部

2019年度目標

- 1.安全で質の高い看護の提供
- 2.人材育成と自己啓発・研鑽の推進
- 3.業務改善と活気ある職場作り
- 4.病院経営への参画

2019年度総括

2019年9月21日看護部長の異動があり前任から託され下半期より目標を支えていくこととなった。AMG看護本部指示のBSCでの手法で、患者・利用者の視点、学習と成長の視点、業務プロセスの視点、財務の視点から設定され、上記1～4の目標に着手したが課題山積で成果を得る行動に至らなかった。その為、優先課題として、新体制の看護部組織の強化を図った。組織の再構築、組織図の改定、業務基準の改定、所属長の役割確認等を行った。

また、病院機能評価受審に向けた改善行動を重点に行動計画を立案し取り組んだ。結果B評価をAにもっていくことが出来た。患者や職員の安全、安心を担保するために2月から夜間看護責任者の配置に取り組むこととした。さらに救急外来にホットラインを導入し救急患者の受入を円滑にすることが出来た。

今後の課題として、病院組織体制の強化や診療報酬改定に向けた対応、次世代育成、人材確保と定着を得るために行動していく必要がある。また、現在のBSCの手法では、行動計画が可視化できず進捗状況も定期的に確認しづらい。次年度は、目標設定用紙の変更も視野に入れた行動する。

2020年度目標

大目標:看護部の組織強化と患者の期待に応える最善な看護の提供

- 1.患者を支える安全・安心な看護体制の構築
- 2.切れ目のない看護ケアの実践
- 3.病院経営への参画
- 4.マネジメント能力の向上
- 5.第三者評価を活用した活動

《 看護部 看護部長 中澤文子 》

医療安全管理室

2019年度目標

- 1.倫理的課題について倫理委員会と協働して取り組み、医療安全管理マニュアル・医療事故防止マニュアルを改訂、職員へ周知する。
- 2.安全確保のためのカンファレンスを定期開催し、内容に基づいて対策をフィードバック、結果を評価し記録しておく。
- 3.医療安全推進担当者が自部署の課題に対して目標管理を導入、安全活動の実践内容を評価する。
- 4.地域連携病院と医療安全対策に関する相互評価を実施する。

2019年度総括

安全で良質な医療を提供するために、組織の全職員が医療事故防止の必要性を理解しておくことが重要である。患者および家族に誠実に対応できるよう、全職員を対象とした安全管理研修を開催した。

医療安全対策地域連携に関しては、医療安全対策に関する相互評価を実施した。前年度に指摘された内容に対する改善策を報告、また院内の取り組みにおいても情報共有している。各部署のリスク部員が自部署の課題に対して問題を把握、医療安全活動を計画的に実践できるよう、医療安全目標を設定し目標管理を導入した。継続した取り組みが必要であり、今後も継続していく。

また、説明と同意に関する規定、当院の急変時救命治療に関するガイドラインを倫理委員会と協働して作成、職員へ周知、患者の倫理的課題解決に取り組むことを今後の課題としていく。

インシデント報告件数 1642件 / 昨年1257件 事故レベル3以上の報告件数 45件 / 昨年40件

2020年度目標

- 1.患者安全活動の実践に係る業務改善
- 2.医療安全管理部門としての病院経営への参画
- 3.安全文化の啓蒙と組織力強化
- 4.病院機能評価を活用した患者中心の医療の推進

《 医療安全管理室 科長 細沼 睦子 》

薬剤部

2019年度目標

チームの役割を達成し、トップダウンからボトムアップの薬剤科にシフトチェンジ

2019年度行動目標

1. 医薬品の適正使用に向けての取り組みの実施(適応外使用、抗菌薬、高齢者)
2. TDM(薬物血中濃度解析)業務の拡大(外来患者)
3. ポリファーマシー(害のある多剤服用)状態の解除に向けた取り組みの実施
4. 症例検討会の実施方法の見直し
5. 学会発表と認定取得のための準備と支援

2019年度総括

これまではトップダウン型の業務改善体制を行ってきたが、チーム内で問題点を考え、改善案も出していく体制にシフトした1年だった。うまくいかない部分も多々あったが、行動目標にあげたTDM業務の拡大や症例検討会の実施方法の見直し、ポリファーマシー状態の解除はチームで検討し、進めることが出来た。中でもポリファーマシー状態にある患者をピックアップし、減薬提案を行えたことは、当院のように高齢患者が多い病院にとっては大きな強みとなると考えている。

今後は薬剤科の中だけでなく、多職種チームの中で積極的に行動できる人材が育ってくると考えている。医薬品の適正使用に関しては、抗菌薬については積極的に実施出来たがそれ以外についてはほとんど取り組むことが出来なかった。また、学会発表についても準備することが出来ず、来年へ持ち越しとなった。症例検討会はチームで検討することが出来たが、問題点もあったので、来年度も引き続き検討し改善していきたい。これまで災害時の行動について話し合う機会がなかったが、今年初めて全員で検討を行うことが出来た。今後、薬剤科における災害時の行動マニュアルを作成していきたい。

2020年度目標

1. 病院機能評価受審に向けて、業務の改善活動をより推進する
2. 診療報酬改定内容を把握し、薬剤師のニーズに的確に応える
3. 薬剤科症例検討会の質を向上させるために、実施方法の見直しを行う
4. キャリアラダー評価を適切に行い、特に中堅世代の教育を進める
5. 不適切な医薬品の使用について調査と改善行動を検討する

《薬剤科 科長 海老根卓也》

リハビリテーション科

2019年度目標

- 1.機能評価に向けてマニュアル整備
- 2.臨床での気道吸引導入
- 3.離職率10%の維持
- 4.退院患者の外来、訪問、通所への移行の推進

2019年度総括

今年度はリハビリテーション科として評価用紙や計画書の改定など診療報酬改定及び病院機能評価受審に向けた田陸海が実施できた。

気道吸引導入に関しては、看護部の協力のもと、3B病棟・4B病棟の担当者が実技試験を実施し、15名が臨床での気道吸引を開始できた。

離職率は10%の目標が達成できた。

退院患者の外来、訪問、通所への移行の推進については、毎月30%前後が移行できた結果となった。

2020年度目標

病院機能評価受審に向けた業務の整備

回復期増床への対応

急性期完全365日体制

退院患者の外来、訪問、通所への移行の推進

〈 リハビリテーション科 科長 櫻場 勝 〉

検査科

2019年度目標

1. 超音波予約外検査(緊急検査以外)への迅速対応
2. 地域イベントへの参加と検査啓蒙活動
3. SWEの導入による質の向上と増収
4. 各超音波検査技術者の育成
5. 血液製剤廃棄率削減
6. 超音波科内カンファレンスの実施
7. 学会発表による新しい知見の発信と獲得
8. 誤認防止のための運用変更

2019年度総括

1. 予約外の超音波検査で対応できなかったものが、患者側都合(待ち時間)1件、検査科側都合(短時間に依頼が重なり対応できなかったもの)が3件あったが、概ね対応する事ができた。
2. 地域イベントへの参加として、吉川市民祭りに参加し、MCI検査について説明を行い当院をアピールすることができた。
3. 現状の超音波装置に肝硬度測定のアプリケーションを導入して、検査数アップを検討していたが導入する事ができなかった。
4. 超音波担当者の育成については、心エコー、下肢静脈担当者を育成することができたが、腹部エコー担当者については独り立ちまで育成する事ができなかった。
5. 血液製剤の廃棄率削減の取り組みについては、目標を2%以下で設定しましたが、年間の廃棄率:2.4%達成率:83%となりました。
6. 検査科内カンファレンスについては、上半期で4/6回開催し、下半期で6/6回開催する事ができたが年間達成率は83%となった。
7. 首都圏支部・関甲信支部 医学検査学会 演題「整形外科手術周術期におけるフィブリンモノマー複合体の有用性の検討」発表しました。
8. 誤認防止のため、手書きラベルを無くす取り組みを行った。病理は患者ラベルを出力できるようにし、培養のラベルについては、手書きラベルのままである。

2020年度目標

- 1.超音波予約外検査(緊急検査以外)への迅速対応
- 2.地域への検査案内活動
- 3.SWEの導入による質の向上と増収
- 4.血液製剤廃棄率削減
- 5.超音波検査対応者数アップ
- 6.学会発表
- 7.科内エコーカンファレンスの実施
- 8.誤認防止のための運用変更

《検査科 科長 松澤 秀司》

放射線科

2019年度目標

1. 安定した組織体制にて医療を提供する為に最低人員の確保
2. モダリティ別活動の継続
3. 地域の医療機関との連携強化
4. 保険外収入の検診増加
5. CT・MRIの安定稼働
6. 対外的発表と学会への参加、院内勉強会の実施
7. 医療安全報告の習慣化
8. 一般撮影マニュアルの改訂とDRL(医療被ばく)の低減

2019年度総括

放射線技師数は新人2名を増員し11名でスタートしたが、3名の退職者が出てしまい急遽1名の補充を含めて9名と人員としては厳しい状況となってしまった。その様な状況下であったがモダリティでの活動でCT・MRIにおける改善活動や地域連携の紹介検査数1.5%UP、保険外収入の検診MDL数9.7%UP、CTも1%UPと病院収益に貢献することが出来た。対外的発表についても2演題を発表、院内勉強会も年度末にCOVID-19の影響にて開催が中止となったが概ね目標を達成することが出来た。医療安全のインシデント報告数やマニュアルの改訂、医療被ばくの見直しも目標達成となった。2020年度に向けては、人員の補充と教育体制を整え質向上に取り組むことが課題であると考え。

2020年度目標

1. 安定した組織体制にて医療を提供する為に人員の定着
2. モダリティ教育の構築
3. 地域の医療機関との連携強化
4. 保険外収入の検診増加
5. CT・MRIの安定稼働
6. 院内勉強会・症例検討会の実施
7. 医療安全報告の習慣化
8. 各マニュアルの見直し、DRL(医療被ばく)の低減

《 放射線科 科長 笹川 拓也 》

栄養科

2019年度目標

- 1.入院栄養指導件数増 50件／月
- 2.近隣病院・施設との連携 栄養サマリー作成
- 3.新人育成
- 4.食事満足度向上 満足度80%以上

2019年度総括

人事に関して、3名体制だったが3月に埼玉回生病院より1名異動のため4名体制に増員となった。給食委託業務に関して、エムティーフードと継続にて契約更新している。2020年4月からは単価性から管理費性に契約変更予定である。臨床実習に関して、2/3～3/15の期間で東洋大学の実習生2名、3/2～3/14の期間で十文字学園女子大学の実習生2名を受入れた。

目標管理について、目標1では前年度より55%増の73件/月と達成、目標3の新人育成により業務体制も徐々に改善しており指導件数の増加につながった。目標2は保健所管内の近隣病院・施設との情報交換会はコロナのため年1回の開催となったが栄養サマリーでの情報交換や電話・メール等でのやりとりができています。サマリー作成件数は前年度より24件と少ないが電子カルテで作成できるよう業務改善を行った。目標4では上期82%・下期81%と目標を達成できた。今後頂いたご意見を参考に更なる改善が必要と考えている。

2020年度目標

- 1.入院栄養指導件数増 75件／月
- 2.近隣病院・施設との連携 栄養情報提供書作成 30件/年
- 3.新人育成
- 4.食事での患者満足度向上 満足度80%以上
- 5.コスト業務へ集中できるよう業務改善

《 栄養科 主任 矢口 千恵 》

総務課

2019年度目標

- 1.適正な人員確保
- 2.経費節減(委託費・手数料の見直し)
- 3.人材育成の強化
- 4.施設基準の監査

2019年度総括

医師・看護師・看護補助者の人員確保が難しく採用に苦勞した。また離職率10%未満を目標に掲げたが13%と達成には至らなかった。今後は採用強化と定着率を上げる努力が必要と考える。

委託費用の見直しは思っていたような改善ができなかった。診療材料等の物品は統一物品を使用することを医材料検討委員会で徹底した。その為グループの一般病院の中でも統一物品使用率は上位であった。

総務課は人員が十分とは言えず業務が繁雑になってしまった。次年度は人員を補充し教育をしっかりと行いたい。

届出を行っている施設基準における人員及び施設の管理は毎月確認し遵守することができた。

2020年度目標

1. 経費節減
2. コンプライアンス体制の徹底
3. 課のレベルアップ・人材育成
4. 職員の満足度アップ

《 総務課 主任 小林 裕治 》

医事課

2019年度目標

1. 返戻査定の減少
2. CMS事務職認定試験勉強会の開催
3. 医事課業務改善ミーティングの実施
4. 施設基準管理体制の構築

2019年度総括

課内のミーティングでは継続して返戻査定の傾向と対策を周知。実施回数は減少したものの、返戻率、査定率共に減少した結果となった。

CMS事務職認定試験の勉強会を開催。初級、中級、上級の医事課の範囲の勉強会を実施。試験範囲を網羅し勉強会を行った。

医事課業務改善のミーティングの定期開催(計12回)を目標とした。医事課の人員減少や人事異動の影響もあり開催できない月があった。インシデントの報告と確認、対策の立案までを行い、日常業務の効率化に反映させるべく定期開催を目指した。来年度も継続した開催を行う。

施設基準基準管理に向けた検討会を実施。年4回を目標設定。結果として1回検討会を行った。掲示物管理を目的とした院内ラウンドの検討を行った。施設基準に関わる掲示物確認(2ヶ月に1回)来年度の目標とする。

2020年度目標

1. 返戻査定の減少
2. CMS事務職認定試験勉強会の開催
3. 医事課教育マニュアルの策定
4. 院内掲示物確認ラウンドの実施

《 医事課 係長 古澤 智樹 》

患者家族支援課

2019年度目標

1. 患者の意思を尊重した退院支援を行う
2. 在宅療養支援ベッド事業開始(スムーズな入退院・転院調整)
3. 入院時支援加算取得の仕組み作り
4. 相談員の質の向上
5. 看護実習生受け入れ(獨協越谷 上尾)

2019年度総括

診療報酬改定で新たにできた入院支援加算については、7月に届け出を提出することはできたが、実際に取得する件数は少なかった。外来患者のスクリーニングがうまくできず情報収集する看護師不足もあり積極的な取得には至らなかった。入退院支援加算、介護支援連携加算については外部関係者と顔の見える関係づくりを積極的に行っていたため取得件数の増加につながった。連携業務は多種多様で病院により行っている業務の違いもあり、業務内容の整理や見直しが必要であると考えている。今年度末に2名退職者がでてしまった。

次年度は業務改善もかねて他部署との役割分担を目標に挙げる。連携業務の見直しと、看護部の退院支援看護師の育成をするため部会を立ち上げ入退院支援・調整の必要性を周知させていきたい。

2020年度目標

多職種連携し安定したベッド稼働の維持

1. 入院支援加算の取得
2. 入退院支援部会で勉強会企画
3. 人材育成 教育・定着

《 患者・家族支援課 係長 吉田 美智子 》

健康管理課

2019年度目標

1. 健康管理課新規メンバーにてスムーズな案内・対応
2. 職員個人の検査知識の向上
3. 外来受診UP率8%目標
4. 売上単価の増加2018年度目標

2019年度総括

事務・看護師・土曜非常勤医新規メンバーにて2019年度開始。繁忙期は毎日昼礼を行い、引継ぎ事項や当日の受診者の案内・対応の見直し、検査知識の向上に努めた。

二次検査受診対象者への結果報告郵送時、二次検査受診案内票を送付し、外来受診率UP目標8%達成。年度途中より、市区町村健診の二次検査受診者は対象外として、目標未達成の月もあった。市区町村健診の受診者のほうが、二次検査受診率が高い可能性がある。その背景には、市区町村健診では、結果説明日を後日設け二次検査日の予約を促しているからである。二次検査受診案内票では予約ができる案内をしていない。外来・健康管理課の電話予約対応がマンパワー不足にて出来ないため、問い合わせがきた方のみ電話予約を促している。

人材派遣保険組合の解散に伴い、協会けんぽ健診や代行機関に振り分けられたことや、協会けんぽ加入者の増加に伴い、受診者はかなり増加となった。

病院ホームページを見直したところ、健康管理課へのアクセスがトップ画面になく、業者に依頼し、トップ画面にアイコンを移動。Webの最適化を2020年度にむけ行う。また、協会けんぽ健診からの人間ドック振替や新規コースオプション(脳MRI)などWeb上に追加し、単価の増加を目指す。

2020年度目標

1. 健康管理課のWebの最適化
2. 職員個人の検査知識の向上継続
3. 外来受診率10パーセント目標(泌尿器科予約)
4. 売上単価の増加(オプション検査追加)

《 健康管理課 三澤 瑞希 》

Yoshikawa Central General Hospital